

**「国家情報会議設置法案」についての意見様式**

|               |                |         |                             |
|---------------|----------------|---------|-----------------------------|
| 府省庁名          | 内閣官房           | 意見番号    | 1                           |
| 担当部署・<br>担当者名 | 国家安全保障局<br>佐々木 | TEL（直通） | （直通）<br>03-5253-2111（内線（ ）） |
| E-mail        |                |         |                             |

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 意見及びその理由                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| <p><b>【意見内容】</b><br/> （第2条及び第7条関係）<br/> インテリジェンスの主たる目的は政策に活用することと認識しており、国家情報局において、国家安全保障局の情報関心を踏まえて、情報を集約し、それを適時適切に国家安全保障局に共有することが必要。<br/> 同時に、国家安全保障会議設置法第6条に基づき、国家安全保障局が関係行政機関から資料又は情報の提供を求める権限が維持され、これまでどおり運用できることが確保されることも必要。</p> <p><b>【意見を提出する理由】</b><br/> 国家情報会議及び国家情報局の設置後も、国家安全保障局が国家安全保障に関する外交・防衛・経済の政策に関する司令塔であるとの位置付けが形式的にも実質的にも維持されることが重要であるため。</p> <p>（以下、意見の趣旨を補足する場合はここに記入してください）</p> |
| <p><b>【回答】（当室記入欄）</b><br/> 本法案は、国家安全保障会議の審議に資する情報の収集調査を充実強化すること等を念頭に置いたものであり、国家情報局から国家安全保障会議又は貴局に対し、政策判断のため必要となるインテリジェンスを提供していきたいと考えている。<br/> また、国家安全保障会議設置法第6条の規定に基づく国家安全保障会議に対する関係行政機関からの資料又は情報の提供等に関して、その権限が維持され運用できることは、法文上明らかであると考えている。</p>                                                                                                                                                      |

**「国家情報会議設置法案」についての意見様式**

|               |                |         |                             |
|---------------|----------------|---------|-----------------------------|
| 府省庁名          | 内閣官房           | 意見番号    | 2                           |
| 担当部署・<br>担当者名 | 国家安全保障局<br>佐々木 | TEL（直通） | （直通）<br>03-5253-2111（内線（ ）） |
| E-mail        | （ ）            |         |                             |

**意見及びその理由**

**【意見内容】**

（第3条関係）

国家安全保障会議と国家情報会議については、可能な限り重複がない形で、効率的に開催することが適当。具体的には、前者については、国家安全保障戦略等に係る検討のほか、諸外国との安全保障面の関係、外国における紛争に際しての対応等の政策を検討する場合や北朝鮮によるミサイル発射といった緊急事態への対応を検討する場合等に開催し、後者については、インテリジェンスの情勢認識や情報関心をとりまとめる場合等に開催することが基本であると認識。

**【意見を提出する理由】**

国家情報会議及び国家情報局の設置後も、国家安全保障局が国家安全保障に関する外交・防衛・経済の政策に関する司令塔であるとの位置付けが形式的にも実質的にも維持されることが重要であるため。

（ ）  
（ ）

**【回答】（当室記入欄）**

例示された緊急事態対応に当たっては、総理を含む関係閣僚の主たる関心の所在は、どのような「政策」や「対応」をとるかであると思われるため、基本的には、国家安全保障会議を開催し、国家情報局を含む情報部門が情報面から最大の支援を行う形とするのが、適当であると考えており、そうした認識は、これまで貴局に累次お伝えしてきたとおりである。

最終的には、両会議を主催する政務の意向により決せられる制度であるが、両会議を支える事務方同士として、貴局とよく相談して適切な運用となるよう努めてまいりたい。

**「国家情報会議設置法案」についての意見様式**

|               |                |         |                           |
|---------------|----------------|---------|---------------------------|
| 府省庁名          | 内閣官房           | 意見番号    | 3                         |
| 担当部署・<br>担当者名 | 国家安全保障局<br>佐々木 | TEL（直通） | （直通）<br>03-5253-2111（内線 ） |
| E-mail        |                |         |                           |

**意見及びその理由**

**【意見内容】**

（第6条及び第9条関係）

政策とインテリジェンスの連携を確保する観点から、これまで国家安全保障会議に内閣情報官が同席していたように、今後は国家情報局長の同席を得ることが適當。

同時に、国家情報会議には国家安全保障局長の同席も確保されること（国家安全保障局長が海外出張等で不在の場合には、国家安全保障局次長等の代理の出席を認めていただくことを含む。）が必要。

**【意見を提出する理由】**

国家情報会議及び国家情報局の設置後も、国家安全保障局が国家安全保障に関する外交・防衛・経済の政策に関する司令塔であるとの位置付けが形式的にも実質的にも維持されることが重要であるため。

**【回答】（当室記入欄）**

記載いただいたような運用を検討してまいりたい。